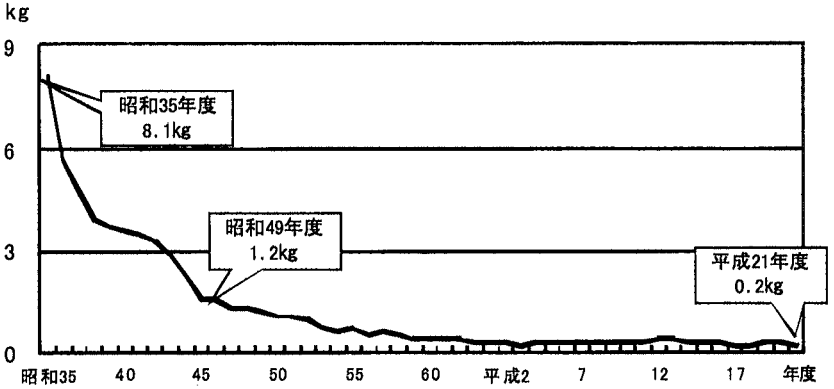
図２　食糧用大麦及びはだか麦の消費量の推移（１人１年当たり）



資料：農林水産省「食料需給表」
注：平成21年度の数値は概算値である。

表４　食糧用大麦及びはだか麦の総需要量の推移

（単位：万トン）

年　　度	総需要量	対前年比
平成17	36	87%
18	53	145%
19	24	45%
20	38	158%
21	33	88%
22見込み	33	101%
23見通し	36	108%

注：総需要量には、生産者団体とビール会社との契約栽培により供給される国内産ビール大麦は含まない。

２－２　国内産食糧用大麦及びはだか麦の流通量

⑴　国内産食糧用大麦及びはだか麦の供給量（当年産の大麦及びはだか麦のうち、生産者から実需者に引き渡された数量）

平成23年産の国内産食糧用大麦及びはだか麦の供給量は、平成22年11月の民間流通連絡協議会において報告された平成23年産の作付予定面積に、10ａ当たり平均収量（二条大麦354kg、六条大麦307kg、はだか麦309kg）を乗じ、さらに、食糧用供給割合（二条大麦53.4%、六条大麦85.8%、はだか麦95.7%）を乗じて、11万トンと見通します（表５）。

⑵　国内産食糧用大麦及びはだか麦の流通量（前年産と当年産の食糧用大麦及びはだか麦のうち、当年度内に市場に流通した量）

平成23年度の国内産食糧用大麦及びはだか麦の流通量は、平成23年産の国内産食糧用大麦及びはだか麦の供給量に過去の供給実績から見込まれる年度内供給比率を乗じ、さらに、平成22年産麦の在庫量を加えて、９万トンと見通します（表５）。

表５　国内産食糧用大麦及びはだか麦の流通量の推移

（単位：万トン）

年産	食糧用大麦及びはだか麦の供給量 ①	うち年度内供給量 ②	年度内供給比率 ②／①	次年度繰越（在庫） ①－②
平成17	10	5	51.0%	5
18	10	5	46.6%	6
19	11	5	45.9%	6
20	13	5	36.8%	8
21	10	3	25.0%	8
22見込み	8	3	35.9%	5
23見通し	11	4	35.9%	
		23年度流通量見通し		9

注：国内産食糧用大麦及びはだか麦の供給量は、は種前契約に基づき、生産者から需要者に引き渡された数量である。

２－３　外国産食糧用大麦及びはだか麦の需要量

平成23年度の外国産食糧用大麦及びはだか麦の需要量は、総需要量36万トンから国内産食糧用大麦及びはだか麦の流通量９万トンを差し引いて27万トンと見通します（表６）。

２－４　外国産食糧用大麦及びはだか麦の輸入量（政府からの販売数量）

平成23年度の外国産食糧用大麦及びはだか麦の輸入量は、外国産食糧用大麦及びはだか麦の需要量と同量の27万トンと見通します（表６）。

なお、飼料用大麦の輸入については、別途農林水産大臣が定める飼料需給計画に基づき行います。

表６　平成23年度の食糧用大麦及びはだか麦の需給に関する見通し

（単位：万トン）

総需要量	A	36
国内産食糧用大麦及びはだか麦の流通量	B	9
外国産食糧用大麦及びはだか麦の需要量	C＝A－B	27
外国産食糧用大麦及びはだか麦の輸入量(政府からの販売数量)	D＝C	27

注：国内産食糧用大麦及びはだか麦については、上記の流通量９万トンの他に生産者団体とビール会社との契約栽培により国産ビール大麦７万トンが供給される見込みである。